

奈良県次世代教員養成塾について

1 趣旨

未来の本県教育を担う人材を育成することを目的として、奈良県の小学校教員を目指す学生・生徒に、奈良県教員等の資質向上に関する指標で示している「人間力・情熱」「授業力」「生徒指導力」「マネジメント力」を獲得させることを目指す。

2 概要

次世代教員養成塾で実施する教員養成プログラムは、県教育委員会と県内に大学法人を置く教員養成系大学（畿央大学、帝塚山大学、奈良学園大学、奈良教育大学、奈良女子大学、大和大学）による実行委員会（実行委員長は県立教育研究所副所長）が実施する前期プログラムと、県教育委員会が実施する後期プログラムで構成する。高等学校等の2年間に前期プログラムを、大学の4年間に後期プログラムを実施し、6年間を通じて未来の本県教育を担う資質・能力を育成する。

3 内容

①前期プログラム

ア 実施

畿央大学、帝塚山大学、奈良学園大学、奈良教育大学、奈良女子大学、大和大学の6大学が中心となって運営する。平成30年10月から31年8月までの月1回程度、原則として土曜日に10回のプログラムを各大学で実施する。

イ 内容

次のようなプログラムにより、小学校の教員を目指す高校生が、「学ぶこと」の意味を考え、自らの目標を達成するために「学ぶ」行動を起こすこと、また、キャリアデザインにつながるような内容を目指す。

- ・ 高校生のキャリアデザインに資する内容とする。
- ・ 各回で受講生に伸ばしたい力を明確にし、その力を付ける内容にし、自ら考え、自らの言葉で表現する（書く、説明する等）活動を重視する。
- ・ 各回の中に必ず「交流」「体験」「振り返り」の時間を設け、「学習者」としての多様な経験が教育観を育むという観点から、「学ぶことの楽しさ」を基盤に「教えることの楽しさ」につながる内容にする。
- ・ 小学校教員や、教員を目指す大学生と交流する場を設ける。

ウ 修了認定等

各大学でのプログラムごとの評価を総合的に判断し、実行委員会が修了認定を行う。修了認定者を対象とする特別入試等は各大学がそれぞれ設定する予定。

②後期プログラム

ア 実施

県立教育研究所が中心となって運営し、前期プログラムを修了し、教員養成系大学において小学校教員養成課程に在学する学生を受け入れる。

イ 内容

大学1、2年生では、社会体験活動、読書活動、インターンシップ、レポート、実施報告書の提出等を中心に実施する予定。大学3年生では、教育研究所での講義・演習を実施し、実践指導力を育成する。大学4年生の4月に後期プログラムの修了認定

を通知する予定。

ウ 修了認定等

県教育委員会が修了認定を行う。後期プログラム修了者には、現行の奈良県公立学校（小学校）教員採用試験における教職経験特別選考に類した受験資格を付与する予定。

③教職大学院・大学院への進学奨励等

さらに高い資質・能力の育成を奨励する観点から、後期プログラム修了後、大学院・教職大学院に進学することを奨励する。教員採用試験を受験せず、大学院等を修了した（修了見込みを含む）者は、教科等に関する力量を高めていることから、教員採用試験では、現在、教科の試験も課している一次試験を免除することなどを予定。

4 募集人数

80名程度。面接及び書類審査により、受講生を決定。